

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 中武 功見
副会長 多賀 学昭
幹事 岩本 正志

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2264回 令和5年8月31日プログラム

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそそロータリー | 9. 点 鐘 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『明るく居心地の良いクラブから、希望の種子を』

第2730地区ガバナー 池ノ上 克
中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣
RI 会長テーマ

『世界に希望を生み出そう』

第2730地区テーマ 『平和を求め、希望あふれる、
明るいロータリーライフを進めよう』

8月の月間テーマ

会員増強・新クラブ結成推進月間

本日の例会案内

- *会員卓話～長谷川修身君
中武泰一郎君
- *100万ドルランチBOX

次週例会案内; 9月7日 (第2265回)

- *月初めのセレモニー・雑誌紹介
- *会員卓話―三原元季君
- *米山ランチBOX
- *例会終了後理事会

第2263回 例会内容 (8/24)

☆会長の時間

会長 中武 功見 君

皆様お疲れ様です。

本日もお熱い中、高鍋ロータリークラブの例会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。また、本日は今月の会員増強月間にちなんで、国際ロータリー第2730地区宮崎県中部グループのガバナー補佐でいらっしゃいます、宮崎北ロータリークラブの長嶺貴臣様をゲストにお招きし、専門外だとはうかがっておりますが、会員増強についてたっぷりとお話をして頂く予定ですので、どうぞ最後までお楽しみいただければ幸いです。長嶺ガバナー補佐におかれましては、公私に亘り大変お忙しい中、わざわざ高鍋までお越しいただき誠にありがとうございます。高鍋ロータリークラブを代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて本日は、8月の3回目の例会ですので、ロータリーのことを中心にお話をさせていただきます。ところで、皆様の一つお伺いしたいことがあります。MY ROTARY に登録を済まされている方は手を挙げて頂けますでしょうか？



第2730地区戦略計画の地区数値目標5か年計画では、初年度の2020～2021年度が60%で最後の5年目2024～2025年度がMY ROTARY 登録100%を目指しています。

と、いうことは、本年度は90%の達成率になっていないわけではないということですので、今後、例会において今一度登録方法の卓話を実行していきたいと思えます。

このMY ROTARY にログインしますと、最寄りのクラブを検索して連絡を取ることができる「クラブ検索」、今までの寄付履歴と認証に関するレポートが閲覧できる「各種レポート」、地域社会でのロータリーの推進に必要な様々なリソース(ロゴ、写真、動画など)を見ることのできる「ブランドリソースセンター」、その他「ラーニングセンター」・「ロータリーショーケース」・「補助金センター」などのロータリーに必要なすべてのツールが揃っています。また、ロータリーに関するニュースや情報をはじめ、ロータリー年間予定表、国際ロータリーからのお知らせ、様々な活動への参加方法等々ありとあらゆるロータリーの情報が満載ですので、ぜひともご登録のほどをよろしくお願いいたします。しかし、118年の歴史と全世界会員数120万人以上のネットワークですので、多少時間がかかってしまったり、未だ日本語への翻訳が進んでいないページ等も多く発展途上中ですので、これからの進化を楽しみにご利用いただければと思います。

しかしここで耳寄りな情報を一つ、わが第2730地区にもホームページがあり、こちらの方が宮崎・鹿児島地区

に根差したものですので、是非とも検索をして頂き活用をして頂きたいと思っております。このなかにも、MY ROTARY 登録のコンテンツもありますし、何よりもガバナー事務所からの新着情報が満載ですので、併せて積極的にご利用いただければと思います。

本日、もう一つだけ話題のご提供をさせていただきます。『ロータリーの友』8月号P40の「エバンストン便り」は、お読みいただけましたでしょうか。そこには、ロータリーにおける従来の役職名が、7月1日から新しい役職名に変わることが告知されています。例えば、「クラブ研修リーダー」は「クラブ・ラーニングファシリテータ」に、「地区研修リーダー」は「地区ラーニングファシリテータ」に、また「地区研修委員会」は「地区ラーニング委員会」へと。ということは、高鍋ロータリークラブで福岡さんに委員長をお願いしている「クラブ研修委員会」は、「クラブ・ラーニング委員会」になるということです。

なおこれらのことは、規定審議会の承認を経たり、理事会決定も必要になることから、今後数年をかけて変更を加えていくということです。それではなぜこのような変更が生じてきたかということが、「エバンストン便り」に記載されています。それは、ロータリーにおける学びのアプローチが研修モデルからラーニングモデルへと移行しつつあるからだと言います。このモデルの移行というと、私の関連する医療・福祉領域では医療モデルから社会モデルへと移行したことを思い出します。WHOが改訂したもので、ICIDH（国際障害分類）という医療モデルから、ICF（国際生活機能分類）という社会・生活モデルへの移行です。これを説明するには大変長くなりますので、また別の機会でご説明をさせていただきます。このロータリーの学びのアプローチが移行するのは、参加者を活動の中心に据えるというRIの行動計画目標の一環であり、会員自らが積極的にラーニング（学び）に関与し、それを自らコントロールできるようになることを意味すると続きます。

そして、ロータリーにおけるリーダーの役割は、会員が知るべき情報を教える「講師」ではなく、会員がアイデアを共有できるように導く「ファシリテーター（進行、学びのプロセスの支援）」としての役割を担うことだと結論付けています。

つい先だって、8月6日の日曜日に都城東高校で行われましたRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）、以前はDL（ディスカッション・リーダー）と呼ばれていたもので、このファシリテーターの養成プログラムになっています。皆様もぜひ参加していただき、ファシリテーターになっていただきたいと思っております。

前半にお話したMY ROTARYや、2730地区のホームページには、これらのラーニング・プログラムが満載ですので、併せてご覧いただければ幸いです。

本日もこの例会が、少しでも皆様方の入りて学ぶ機会になればと思います。

どうぞ最後までロータリーをお楽しみください。

☆幹事報告<幹事報告>

副幹事 甲斐 宏昌 君

*2023-2024年度笹山ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

*ライラ礼状&記録誌送付

*中部グループ会長幹事会のご案内

日時 2023年10月25日

18:30~

場所 旅館 小戸荘



☆会員増強卓話

中部グループガバナー補佐
長嶺 貴臣 様



☆新入会員卓話 (8/17)

近藤 真司 君

＝貯蓄から投資について＝

高鍋信用金庫の近藤でございます。改めましてどうぞよろしくお願いいたします。この様な場所で先輩諸氏の前で何を話そうかと悩みました。私の仕事に絡んだ話であれば、間が持つかないと思ひまして、「金利の話」をさせていただきます。その前に自己紹介を簡単にします。

私は現在、本部の4階におります。役職は、私の前の酒井さんと同じく専務ということになっています。簡単に経歴を説明しますと、昭和56年に高鍋信用金庫 宮崎東支店が始まりでして、以後、住吉支店、本店、宮崎北支店、本部と回り、木城支店・川南支店で支店長を務め、その後、本部にて総合企画部長を9年間した後、現在に至っております。趣味は、夏はゴルフ、冬は磯釣りです。それから読書ですが、最近はとんと頭に残りません。すぐ忘れてしまいます。高鍋信用金庫に入って、勤続43年ということで、様々なことがありましたが、本日は皆さんにも一番身近な「金利」のお話をしようと思ひます。

私が「たかしん」に入って、バイクでお客様のところを回っていた時の定期預金の金利は6%を超えていた時期もありました。100万円1年間預けて頂いたら、利息は1年間で6万円以上という時代でした。ところが現在の定期預金金利は0.002%。1年間預けても20円です。



なぜこうなったのかを説明すると時間がいくらあっても足りませんので割愛しますが、いずれにせよ日銀による金融政策により金利は低く抑えられてきたわけです。デフレ脱却という名のもとに。ところがここで問題になるのが「資産形成」という問題です。「老後に向けての必要資金」として「2,000万円問題」というのがありましたが、ある統計では「ゆとりある老後の生活費」は月額36万円だそうです。ところが、現状の「一般的な厚生年金受給額」は夫婦二人で約22万円。差額。つまり毎月の不足額が14万円ということになります。では65歳から(私が今65歳なので)20年間生きると仮定すると14万円×12か月×20年で3,360万円という数字がでてきます。そうすると、「老後の生活資金」としては2,000万円~3,000万円は必要なのではないかと推測されるわけです。私自身非常に焦りました。金融機関に40年以上いて何をやってきたのだと思いました。では、どうやってその資金を準備するかということです。ここからが本題です。

現在の資産を取り巻く環境としては、先ほども話しましたが「長引く低金利」で預金だけで資産形成するのは限界があります。さらに、ここにきての世界的なインフレ。物価が上昇すると、同じ金額で買える物や量が少なくなってしまうため、お金の価値が目減りします。ではどうするかということで、岸田政権が「資産所得倍増計画」を提唱しました。いわゆる「貯蓄から投資」というものです。ただ、動きとしてはまだまだみたいで、現在NISAの口座数が1700万口座らしいのですが、そのうち3~4割が未稼働とのこと。これは株式や投資信託への投資に抵抗があるためと推測され、リスク資産への投資をどう促すかが大きな課題だとされています。ではどうしてリスク資産への投資の分散が進まないのでしょうか？

一つは「金融知識の不足」が挙げられます。昨年の4月から新学習指導要領の下、高校の家庭科と公民科の授業で本格的な金融教育がスタートしました。「資産形成」について学ぶほか、各種金融商品の収益性や安全性など具体的な商品特性まで踏み込むとのことです。ただ、現実的には学校現場ではなかなか進んでいないのが現状だそうです。さらに昨年の4月から成人年齢が18歳に引き下げられたことで、若年層を狙った金融トラブルが増加傾向にあることから、金融教育は重要です。しかし、我々の世代では金融教育など学校でも家庭でもありませんでした。あるアンケートでは金融教育の経験ありは100人中わずか7人との数字が出ています。これについては、我々金融機関の情報提供不足も一因だと思って反省しています。

遅ればせながら、当金庫では職員には手数料どうのこのより、お客様の資産形成を助けるために情報を提供しなさいと話しています。私も私の同級生達に「投資信託」の話をするのですが、全員資産形成には無頓着で「投資信託」の内容もまったく知りませんでした。それからもう一つ投資への分散が進まない理由として、「現状維持バイアス」があると言われています。人は新たなチャレンジより、現状を維持する選択をしようとする傾向があります。新たなチャレンジによる利益より、変化による損失が恐ろ

しいから。(損失回避性という)

投資信託などの投資は、元本保証のある商品ではなく、リターンが見込める半面、リスクもあり、場合によっては損失を出してしまう。したがって、投資信託を拒否してしまうということです。

ここにいる皆さんは、釈迦に説法で「貯蓄から投資」にすでに踏み込んでいらっしゃるかと推察いたしますが、このように「金融知識の不足」と「現状維持バイアス」により投資信託などの投資がなかなか進まないのが現状みたいです。ちなみに皆さん「72の法則」というのをご存じでしょうか？これはお金が2倍になるまでの年数を知る法則なのですが、 $72 \div$ 利回りでその年数が分かります。

現在の定期預金だと $72 \div 0.002\%$ で約36,000年

日本の株の2006年から2016年の10年平均利回りだと $72 \div 13.49\%$ で約5年

アメリカの株だと直近10年で $72 \div 18.59\%$ で約3.8年となり、何で運用するかで結果は大きく異なります。ただ預金と違い元本保証はないが、その分メリットがあるというものです。したがって、投資は余裕資金ではじめることをお勧めします。

それでは簡単に投資信託について触れておきます。まず投資信託の4つのメリットを知っていて欲しいのです。

①小額から始められる。・・・通常、株式や債券の投資には、ある程度まとまった資金が必要です。しかし投資信託は1万円程度から手軽に始められます。

②分散投資でリスクヘッジできる。・・・投資先が分散されるため、「特定の投資対象だけに投資して資産が全滅するリスク」が低い。さらに、時間を分散すること、つまり購入時期をずらすことによりリスクを分散できます。

③専門家が運用している。・・・豊富な知識と経験、情報力を持った専門家が運用を行います。

④透明性が高い。・・・毎日、「基準価額」が公表されるので資産価値や値動きが分かり易い。

最後に、NISAという言葉聞いたことはありますか？NISA、積立NISAは少額投資非課税制度のことです。簡単に言うとNISA口座を使うと、金融商品から得られる利益が非課税になるという制度です。例えば、投資信託で10万円の利益が出た場合、今までならば20.315%の税金がかかり、約2万円の税金が引かれ、手元に入るのは約8万円だったのですが、NISA口座の場合は、まるまる10万円手元に入ることになります。政府の「貯蓄から投資」の本気度がうかがわれます。利用しない手はないと思います。さらに、この制度が2024年1月から制度が拡充され、恒久化されます。非課税期間が無期限になりますし、非課税保有限度額や年間の投資上限額が拡充されます。大変有利な制度ですので、利用されていない方は検討されてみてはいかがでしょうか。全ての金融機関を通じて1人1口座ですので、お近くの金融機関に行かれてみて下さい。

ちなみに高鍋信用金庫でも取り扱っています。

本日はこのような貴重な時間をいただきましてありがとうございました。



会員増強月間卓話
委員長 阿多美千代君



社会奉仕委員長
長谷川修身君



卓上の花「バラ」



本日の食事「カツカレー」

☆BOX披露 親睦活動委員長 岩切 一浩 君
<ニコニコ・財団・米山BOX>

【中武功見君】長嶺ガバナー補佐
本日は高鍋までおいで頂き
ありがとうございます。本日
の卓話よろしくお願い致し
ます。



【藤本範行君】ガバナー補佐の
長嶺様ようこそ高鍋RCへ。
本日は卓話を楽しみにして
います。よろしくお願ひします。

【多賀学昭君】長いお盆がやっと終わって何とか体力が
回復してきました。長期の欠席申し訳ありませんで
した。

【児玉幸則君】遅れましたが誕生日お祝いのお礼として。

☆出席報告 出席委員長 関 康仁 君

出席状況 (8/24)

会 員 数	41 名
出席 会員 数	31 名
ホーム出席率	79.49%
前々回修正出席率	87.18%



「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



ソングリーダー 多賀君



ピアノ演奏 森さん

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか